

村井知至関係資料目録

同志社大学人文科学研究所

2007年1月

この目録には 1980 年、村井知至の令息である村井勇吾氏より同志社大学人文科学研究所に寄贈を受けた資料計 77 点が収録されている。

村井知至は 1861 年 10 月（文久元年 1 月）松山藩士の子として生まれた。横浜海岸教会で受洗。1884 年同志社英学校を卒業、1889 年に渡米しアンドーヴァー神学校を卒業の後帰国し本郷教会の牧師を務めた。日清戦争後に再渡米、アイオワ大学で学んだ後帰国しユニテリアン協会惟一館の説教者となり、ユニテリアン協会の『六合雑誌』にしばしば論説を発表した。1898 年 10 月に惟一館を本拠に社会主義研究会が結成されるとその会長に就任し、小冊子『社会主義』を刊行したが、これは日本人による最初の社会主義の概説書であり、物質的救済は社会主義、精神的救済はキリスト教との立場をとった。また、英語学者としても知られ A・W・メドレーとの共著になる『The new art of English composition』は英作文の教科書として有名である。

寄贈された資料は下村孝太郎宛書簡 8 点、講演原稿 38 点、日記類 7 点、随筆類 2 点、旅行記他 4 点、遺文遺影集 2 点、その他関係資料 7 点である。その中には令息勇吾氏によって書写された講演原稿や日誌も含まれており、村井知至研究上貴重な資料となっている。なお、一般書籍類については分類番号を付与し、図書として人文科学研究所書庫に配架した。

最後になりましたが、この資料を御寄贈いただいた村井勇吾氏に深く謝意を申し上げます。

同志社大学人文科学研究所

凡例

- 1) 目録の構成は7分類の項目からなっており、各項目は年月日順に配列した。
- 2) 目録の記述は文献番号、文献名、著者名、作成年月日、形態、注記の順となっている。
- 3) 文献名は原表題に拠ったが、ないものについては適宜文献名を付与した。
- 4) 作成年月日は西暦を採用し、不明なものは年月日不明とした。
- 5) 形態は書簡については封書〇通、講演原稿については使用用紙と枚数を記述し、日記等は簿冊単位を記述した。
- 6) 注記は文献の補足事項、書簡の内容等を記した。

以上

目次

A	下村孝太郎宛書簡	P.1
B	講演原稿(自筆)	P.1
B'	講演原稿(村井勇吾書写)	P.2
C	日記(自筆)	P.2
C'	日記(村井勇吾書写)	P.3
D	随筆、論文	P.3
E	通信、旅行記ほか	P.3
F	遺文遺影集	P.3
G	その他関係資料	P.4

文献番号	文献名	著者名	作成年月日	形態	注記
A 1	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1935.10.27	封書1通	同志社創立六十周年記念会出席できず残念
A 2	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1936.7.1	封書1通	綱嶋翁告別式の模様
A 3	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1936.12.29	封書1通	歳暮の礼、服部氏の死を悼む
A 4	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1937.7.30	封書1通	当夏は信州山田温泉で休養
A 5	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1937.9.18	封書1通	喜寿祝賀会取止めの件
A 6	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1937.9.24	封書1通	最近の宗教観説明
A 7	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1937.10.15	封書1通	九州出張悪疫流行の為中止する
A 8	下村孝太郎宛書簡	村井知至	1943.8.17	封書1通	謡曲「松風」英語版原稿在中
B 1	「劣れる者に対する態度」	村井知至	年月日不明	原稿用紙1枚	
B 2	「誤解の修養」	村井知至	年月日不明	原稿用紙3枚	
B 3	「信仰の修養」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 4	「エマソンの一言」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 5	「エマソンに就いて」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 6	「理想の人間」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 7	「神の人間俊平」	村井知至	年月日不明	原稿用紙19枚	
B 8	「アミエル 動と静」	村井知至	年月日不明	原稿用紙4枚	
B 9	「主人公(我宗教観)」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 10	「二種の人格一仁心と獣心」	村井知至	年月日不明	罫紙10枚	筆書き
B 11	「エマソン 天の賞罰」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 12	「神性と獣性」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 13	「無宗教の日本」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 14	「人格の建設」	村井知至	1916	巻紙1枚	筆書き
B 15	「五十年前の思い出」	村井知至	[1932]	巻紙1枚	高松に於ける講演、筆書き
B 16	「英米独の宗教的長所」	村井知至	年月日不明	カード11枚	
B 17	「人生観」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き

文献番号	文献名	著者名	作成年月日	形態	注記
B 18	「私の社会観」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 19	「予が信仰の変遷」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 20	「理想と現実」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 21	「霊眼」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 22	「道徳的唯心観」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 23	「アミエルの修養観」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 24	「エマソンの人物、思想」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 25	「私の来世観」	村井知至	1920	巻紙1枚	筆書き
B 26	「予の宗教観」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 27	「基督の心と青年の修養」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 28	「トーマスカーライル“衣装哲学”	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 29	「アミエル略伝」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	筆書き
B 30	“Jesus and Christianity”	村井知至	年月日不明	罫紙2枚	筆書き
B 31	逸題	村井知至	年月日不明	原稿用紙9枚	
B 32	「青年の修養に就いて」	村井知至	年月日不明	原稿用紙11枚	
B 33	「此中からどんな偉い入が」	村井知至	年月日不明	巻紙1枚	卒業式挨拶、筆書き
B 34	「青年と名刀」	村井知至	年月日不明	原稿用紙6枚	卒業式訓示
B 35	逸題	村井知至	年月日不明	原稿用紙1枚	前欠
B 36	「最善の日」	村井知至	年月日不明	原稿用紙8枚	終業式訓示
B 37	原稿封筒		年月日不明	封筒3枚	
B' 1	遺文集(講演・原稿)	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	ノート1冊	
C 1	日記(昭和17年)	村井知至	1942	1冊	
C 2	[稚児のささやき]	村井知至	1934.9	原稿用紙34枚	内容: 日誌(昭和9年9月一)

文献番号	文献名	著者名	作成年月日	形態	注記
C' 1	稚児のささやき	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	1冊	内容:無弦琴1(明治45年4月-11月)、無弦琴2(大正4年3月-8月、稚児のささやき(大正9年))
C' 2	随想雑記	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	1冊	内容:日記抄(明治44年1月-12月)、雑記帳(大正5年度)、随想・回顧(大正8年度)、思想日誌(大正8年-9年)
C' 3	心から心に	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	1冊	内容:「心から心に一カーライル研究」(大正11年9月-大正13年3月)、「愚人庵独語一第一外語創設前後」(大正15年1月-9月)、欧米漫遊計画(昭和2年1月-5月)、アメリカ講演日誌(昭和3年1月-3月)、第一外語再建と挫折(昭和5年1月-9月)
C' 4	神と語る	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	1冊	内容:日誌(昭和10年-11年)
C' 5	自己を語る	村井知至著 村井勇吾書写	年月日不明	1冊	内容:日記(昭和12年-13年)
D 1	蛙人随筆一思うまま、感じるまま	村井知至	1942	1冊(616p)	
D 2	『六合雑誌』所載村井知至論文集		年月日不明	1冊	コピー製本
E 1	蛙鼓 第1号~第26号	村井知至	1935-1938	1綴	
E 2	満州旅行記念帳 其一	村井知至	1937	1冊	
E 3	短歌1句	村井知至	[1943]	1枚	82歳記念
E 4	蛙の踊及一茶蛙句集	村井知至	年月日不明	折本1冊	贈呈下村先生とあり
F 1	不忘草	村井勇吾	年月日不明	1冊	父遺文遺影拾遺
F 2	村井知至近影		年月日不明	1枚	写真

文献番号	文献名	著者名	作成年月日	形態	注記
G 1	『井底雜音』序文		1939.3	原稿用紙7枚	
G 2	『欧文閃光録』、『邦文閃光録』一批判反響		年月日不明	1冊	雑誌記事等の切抜き
G 3	羊我 第37,38号	堀正義	1934.11-1934.12	2部	村井知至「五十年前の思い出」所収
G 4	『六合雑誌』における片山潜	辻野功	1978.12	1部	「キリスト教社会問題研究」抜刷
G 5	村井知至参考文献資料		年月日不明	1冊	
G 6	Emerson一句		年月日不明	2枚	印刷物
G 7	同志社人物誌(42)「村井知至」辻野功		1978.7	P58-60	同志社時報No.64所収